

令和2年度

社会福祉法人 あだち福祉会 事業報告

令和2年度事業運営にあたっては、財政基盤の確立を図るため関係市村と連携を強化し、地域住民の負託に応えられる持続的かつ安定的に地域福祉サービスの向上に寄与できる経営を目指し法人経営にあたった。

さらに、経営理念の推進のため、職員一人ひとりの意識改革とチーム介護を念頭に新しい発想や手法を取り入れた、施設利用者に喜ばれ活気あふれる施設経営を目指し事業を展開した。

また、デイサービスセンター利用者の確保やケアハウス事業拡充など、在宅サービスの充実のため法人組織の一部改編を行い、在宅サービス課を設置した。

令和2年度は、介護職員人材不足問題に対応するため業務日課の見直しを行い、年代を越えた人材確保と施設利用者等への喜びある生活支援への実現に努めた。

全国で未だに収束を見ない新型コロナウイルス感染症は、高齢者福祉施設等においてもまん延し、介護用品等の品薄状態や価格高騰は施設経営にも多大なる影響を及ぼしているが、感染防止対策としてコロナ関連補助金を有効に活用し、本会が経営する施設・事業所からの新型コロナウイルス感染症の発症を防止することができたが、引き続き感染症防止対策には万全な体制で取り組み、本会施設・事業所からの発生を防止することに全職員で対処する決意である。

各事業の運営状況は、特養ホーム目標稼働率を達成できた施設は一施設のみであったが、各施設ともに入所者の高齢化や重度化による長期入院や利用者の異動による空床期間の短縮に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症対策などに時間を要したことから、目標稼働率の達成はできなかった。また、短期入所事業稼働率も地域性を考慮し施設毎に目標値を設定したが、目標稼働率の達成までは及ばなかった。デイサービス事業やにこにこふれあいセンター事業も利用率が目標に届かなかった。総体的には、良質なサービスを継続的に提供することを基本に法人を挙げて対応にあたったこともあり、事業計画及び予算との比較において概ね予定どおりの成果を得ることができた。

居宅介護支援事業及び地域包括支援センター事業については、地域の高齢者や

家族及び関係機関との連携により、利用者のニーズに迅速に対応できる体制が整ってきたこともあり、安定した事業経営を行うことができた。

学校経営については、少子化の進行に伴い介護福祉専門学校の入学希望者が近年著しく減少し、学生の確保が大変厳しくなっていることから、AO入試を導入するなど学生の確保に努めたが改善を図ることはできなかった。

職員採用においては、介護職員及び看護職員の応募があり最低限の人員を確保することができたが、全国的に慢性化する介護人材や看護師の不足は改善する兆しも見えず、看護職員の専門職が不足していることから、引き続き職員確保対策を行うこととした。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、マスクや介護用品が高騰し施設経営にも影響を及ぼしたものの、コロナ感染防止対策補助金を有効活用し資金確保に努めるとともに、サービス低下にならない範囲で経費節減や積立金の取崩しをおこない、当年度の安定経営と将来に向けた財政基盤の確立に努めた。

決算の概要については、特養ホーム関連の社会福祉事業はサービス活動収益計が 1,392,240千円となり、サービス活動費用は、1,372,329円で、サービス活動増減差額は 19,911千円となった。

居宅介護支援、地域包括支援、介護学校運営の公益事業は、サービス活動収益計は 124,452千円で、サービス活動費用計は 132,429千円であり、サービス活動増減差額は マイナス7,978千円となった

法人全体としてのサービス活動収益計は 1,516,692千円で、前年度より 16,223千円の減収となった。

また、サービス活動費用計は 1,504,954千円で、サービス活動増減差額は、11,737千円となり、サービス活動外増減差額と特別増減差額を含めた、令和2年度の当期活動増減差額は、16,658千円の増益となった。

令和2年度の補助金等交付事業と整備した主な備品購入・工事等については、以下のとおり報告する。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金と設備整備内容

※ 羽山荘関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
感染対策費用 助成援事業	特養ホーム (短期事業含) 3,884千円 デイサービス 384千円 包括支援センター 148千円	不織布マスク・自動 水栓・車イス・飛沫 防止パネル・センサ ーマット・テーブ ル・吸引機・空気清 浄機整備等	特養ホーム (短期事業含) 4,369千円 デイサービス 427千円 包括支援センター 167千円
再開環境整備 助成事業	特養ホーム (短期事業のみ) 200千円 デイサービス 200千円 包括支援センター 200千円	エアコン更新・Web カメラ付パソコン 整備等	特養ホーム (短期事業のみ) 655千円 デイサービス 250千円 包括支援センター 250千円
簡易陰圧装置設置 経費支援事業	1,320千円	簡易陰圧装置(換気 設備機器・簡易陰圧 装置設置費)	1,320千円

※ 安達ヶ原あだたら荘関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
感染対策費用 助成援事業	特養ホーム (短期事業含) 3,896千円 デイサービス 759千円 包括支援センター 148千円	不織布マスク・自動 水栓・昇降テーブ ル・スリッパ殺菌保 管庫・タブレット・ 非接触型体温計・飛 沫防止パネル・オゾ ン発生器整備等	特養ホーム (短期事業含) 5,273千円 デイサービス 840千円 包括支援センター 171千円

	ケアハウス 1, 110千円		ケアハウス 1, 269千円
再開環境整備 助成事業	特養ホーム (短期事業のみ) 200千円 デイサービス 400千円 包括支援センター 200千円	Web カメラ付パソコン・折り畳み昇降テーブル・高性能除菌スプレー整備等	特養ホーム (短期事業のみ) 250千円 デイサービス 517千円 包括支援センター 250千円
簡易陰圧装置設置 経費支援事業	1, 430千円	簡易陰圧装置(換気設備機器・簡易陰圧装置設置費)	1, 430千円

※ ぼたん荘関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
感染対策費用 助成援事業	特養ホーム (短期事業含) 3, 890千円 デイサービス 759千円 ケアハウス 665千円	不織布マスク・非接触型体温計・センサーマット・車イス・飛沫防止パネル・吸引機・昇降テーブル・iPad整備等	特養ホーム (短期事業含) 4, 221千円 デイサービス 838千円 ケアハウス 737千円
再開環境整備 助成事業	特養ホーム (短期事業のみ) 200千円 デイサービス 400千円	フェイスシールド・Webカメラ付パソコン・折り畳み昇降テーブル・不織布マスク整備等	特養ホーム (短期事業のみ) 222千円 デイサービス 474千円
簡易陰圧装置設置 経費支援事業	1, 364千円	簡易陰圧装置(換気設備機器・簡易陰圧装置設置費)	1, 364千円

※ 居宅介護支援事業所関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
感染対策費用 助成援事業	148千円	不織布マスク・飛沫 防止パネル・空気清 浄機整備等	164千円
再開環境整備 助成事業	200千円	Web カメラ付パソ コン整備等	250千円

※ にこにこふれあいセンター関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
感染対策費用 助成援事業	就労継続支援 353千円 相談支援 104千円	飛沫防止パネル・空 気清浄機・自動手指 消毒器・空気清浄機 整備等	就労継続支援 385千円 相談支援 135千円
再開環境整備 助成事業	就労継続支援 200千円 相談支援 400千円	自動水栓改修・Web カメラ付パソコン整 備等	就労継続支援 352千円 相談支援 451千円

その他の事業補助金と設備整備内容

※ 羽山荘関連

補助事業名	補助金額	整備品目等	整備費用
地域介護・福祉空間 整備等設備整備補 助金	8,125千円	羽山荘 24t級受水槽設置	13,200千円

羽山荘関係

受水槽設置工事（施設東側）

契約金額 13,200,000円

施工前



施工後



簡易陰圧装置設置工事（居室 あやめ）

契約金額 1,320,000円

施工前



施工後



安達ヶ原あだたら荘関係

食器洗浄機更新工事（調理室）

契約金額 2,884,200円

施工前



施工後



簡易陰圧装置設置工事（居室 きつつき）

契約金額 1,430,000円

施工前



施工後



ぼたん荘関係

暖房用真空温水ヒーター更新工事（機械室）

契約金額 9,405,000円

施工前



施工後



ウッドデッキ修繕工事（施設南側）

契約金額 1,105,500円

施工前



施工後



簡易陰圧装置設置工事（居室 けやき）

契約金額 1,364,000円

施工前



施工後

